

2 0 1 8 年 7 月 3 日
東京電力ホールディングス株式会社
福 島 復 興 本 社

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○ 原子力損害賠償の進捗状況	_____	1	～	3
○ 除染等推進活動状況	_____	4	～	6
○ 復興推進活動状況	_____	7	～	9

原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

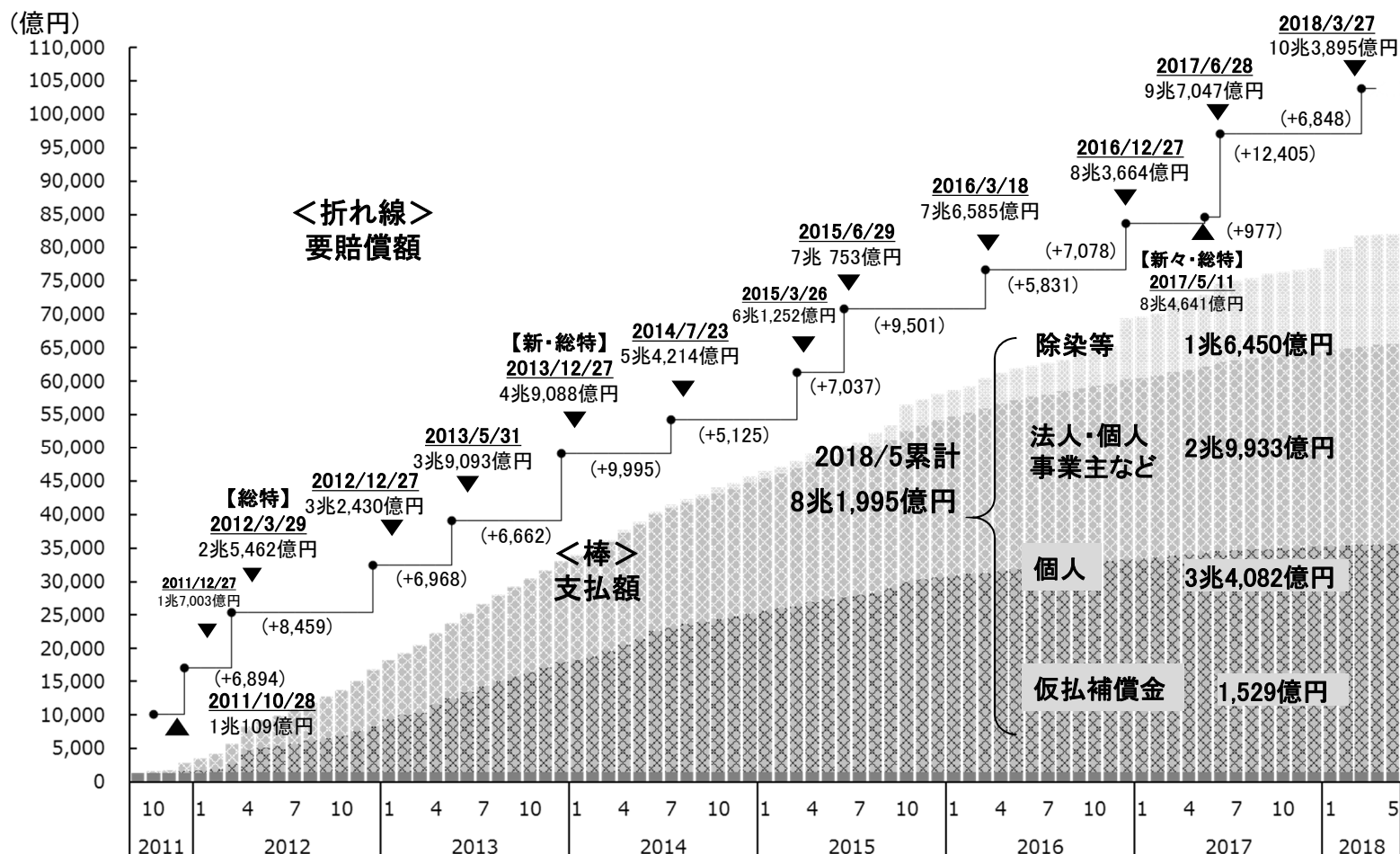
2018年6月8日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,369,000件	約479,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,251,000件	約413,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆4,107億円	約4兆6,399億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2	約8兆0,505億円 ①	
仮払補償金	約1,529億円 ②	
お支払い総額	約8兆2,034億円 ①+②	

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

<賠償支払額及び要賠償額の推移>



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (3/27資金援助額変更申請)	合意いただけた実績※ ¹ (2018年5月末現在)
I. 個人の方に係る項目	20,598億円	19,671億円
検査費用等	3,352億円	2,662億円
精神的損害	10,967億円	10,762億円
自主的避難等	3,626億円	3,626億円
就労不能損害	2,652億円	2,619億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	29,657億円	28,292億円
営業損害	5,258億円	5,097億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	17,781億円	17,303億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,084億円	2,316億円
間接損害等その他	3,532億円	3,574億円
III. 共通・その他	20,917億円	17,581億円
財物価値の喪失又は減少等	14,756億円	13,627億円
住居確保損害	5,910億円	3,704億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等※²	32,721億円	16,450億円
合計	103,895億円	81,996億円

※¹ 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 79%】

※² 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害 等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	

＜ADRの対応状況＞

2018年6月8日現在

申立件数		23,789件
解決件数		22,193件
	全部和解件数	18,075件
	取下げ件数	2,333件
	打切り件数	1,784件
	却下	1件
現在進行中の件数		1,596件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは23,643件（5月末現在）

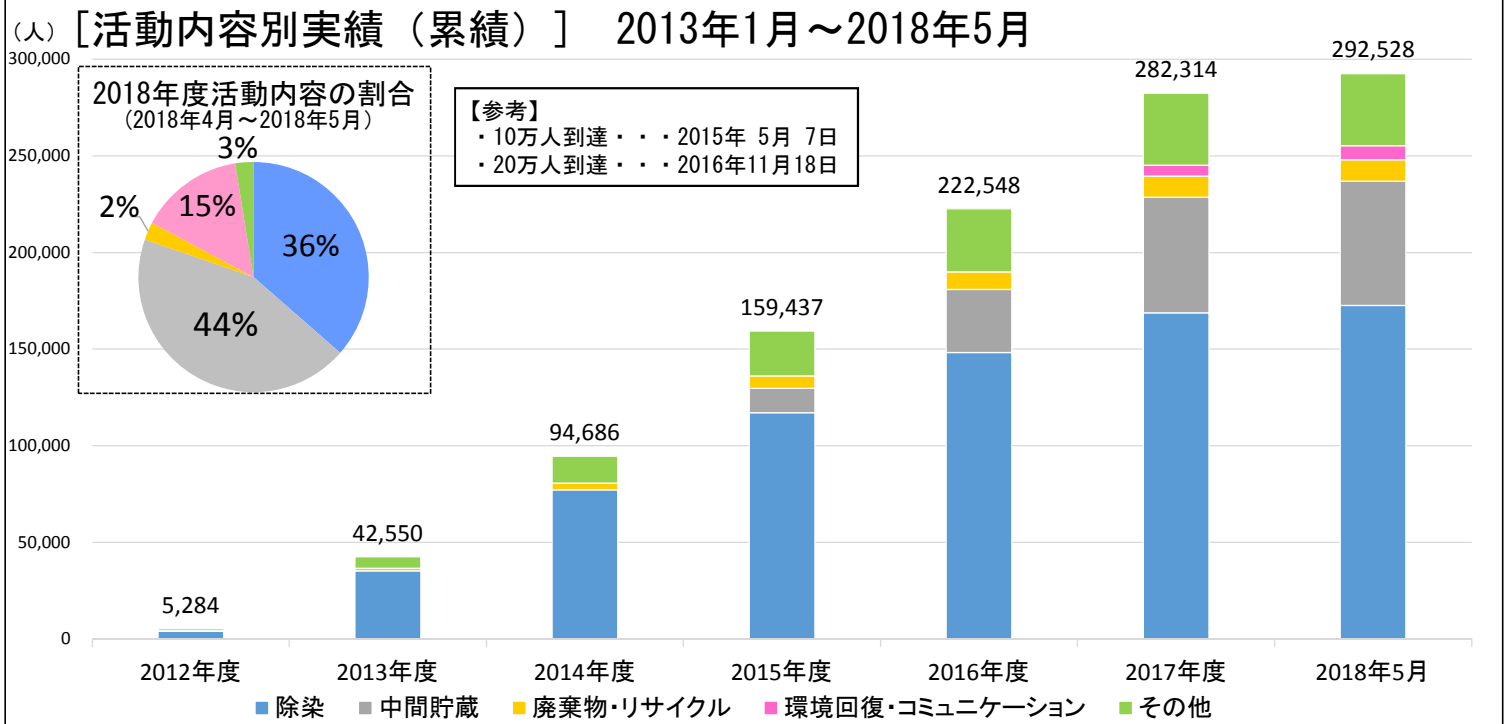
※当社に送達された件数は月平均で約103件（平成30年度）

※現在進行中の件数のうち、102件は一部和解が成立している

※和解金額は約2,975億円

5月の活動実績

除染	中間貯蔵	廃棄物・リサイクル	環境回復・コミュニケーション	その他
				
1,826人 (36%)	2,252人 (44%)	123人 (3%)	756人 (15%)	122人 (2%)
5月の活動実績合計				5,079人
復興本社設立（2013年1月）からの累計				292,528人



至近の主な取り組み



浜通り地方等の主要道路
モニタリングへの対応



環境回復・再生に向けた
ドローン活用技術の展示

浜通り地方等の主要道路モニタリングへの対応

実施時期 2018年4月3日～5月10日（第29巡目）

実施場所 浜通り地方等の主要道路

実施人数 社員 延べ54人

実施内容 国が定めた総合モニタリング計画に基づいた、浜通り地方等の主要道路約1,518kmの走行モニタリング（空間線量率測定）を実施

360度カメラ



車両による走行モニタリング状況

測定器

測定器

PC

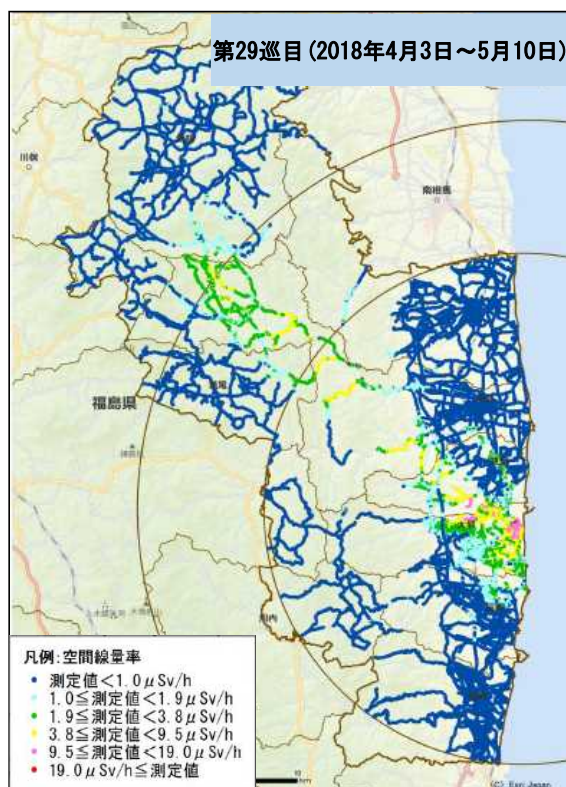
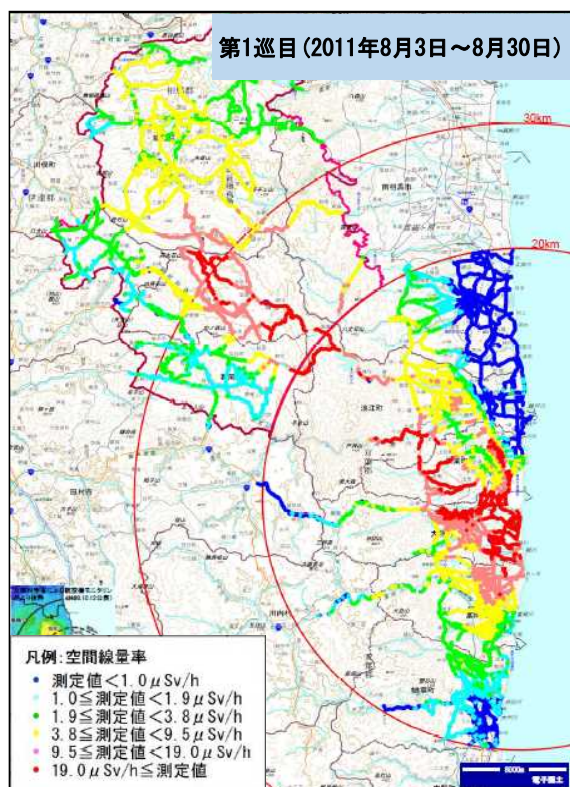


走行モニタリング測定機器

計測結果

第1巡目の計測結果と比較すると、 $1.0\mu\text{Sv/h}$ 未満の地点が増加し、全体的に空間線量率は減少

＜走行モニタリングの結果比較（第1巡目⇒第29巡目）＞



出典：内閣府原子力被災者生活支援チーム資料

第29巡目計測結果URL

http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2018/0607_01.html

環境回復・再生に向けたドローン活用技術の展示

実施時期 2018年6月26日～9月30日（予定）

実施場所 南相馬市原町商工会議所（南相馬市原町区橋本町1-35）

原町商工会議所よりお話をいただき、世界的なロボットの産業拠点を目指す南相馬市内において、ドローンを活用したイノシシの生息状況調査や湿原の植生調査に取り組む当社の技術・活動実績についてパネル等を展示

【展示内容】

实施内容

- ドローンを利用したイノシシの生息状況調査
 - ・イノシシを追跡するドローンで撮影した動画の放映
 - ・事前調査から赤外線カメラでの夜間調査の取組概要のパネル展示
- 天神原湿原の再生に向けた取り組み
 - ・植生調査に使用したドローン実機の展示
 - ・湿原再生・保全の取組概要のパネル展示



展示ブースの様子



調査用ドローン（実機）の展示



ドローンを利用したイノシシの生息状況調査

●調査概要

- ・富岡町と東と協働で、住民の生活環境に影響を与えているイノシシの生息状況（生息域・種数など）の調査方法について実証試験を実施（2018年3月）
- ・調査方法は赤外線カメラを搭載したドローンを夜間自動航行させて、地上の生物を撮影することにより、イノシシの生息状況を確認
※調査範囲 約30ha

●調査結果

- ・今回の調査エリアにおいて、少なくとも17頭のイノシシが生息していることを確認



富岡町

調査範囲

昼間調査（2018年3月12日）



ドローンによる昼間調査状況
（飛行ルート・安全確認等）

夜間調査*（2018年3月13日）

イノシシ



F100により撮影した生息状況【木田エリア】
（赤外線カメラで撮影）

夜間調査*（2018年3月13日）

動物



F100により撮影した生息状況【森林エリア】
（赤外線カメラで撮影）



➢ 調査の結果、木田エリアにおいてはイノシシの活動状況について、比較的容易に把握することができる一方、森林エリアにおいては、イノシシがどこかを特定するために、画像解析など判断技術が必要であることが確認できた

➢ 今後は、当社が保有している画像解析技術を応用し、より正確で省力化が図れる調査手法を構築し、汎用化を図る予定

©2019s Electric Power Company of Japan, Inc. All Rights Reserved

イノシシの生息状況調査の展示パネル

【富岡町での取り組み】

天神原湿原の再生に向けた取り組み ～ドローンを活用した植生調査～

TEPCO

●はじめに

橋本町の天神原湿原は「天神岬スポーツ公園」内に位置する約900mの東西に長い湿原で、公園造成によって面積は減少したが、オオミズゴケが群生し、モウセンゴケやヒメタネキモ等の貴重植物も、様々な注目すべき植物が生育していた。

東日本大震災以後、湿原の保全作業や中心部植木の侵入や草地化等の劣化を招いたことから、湿原を再生し地域の人々の自然環境資源として活かすことを目指して、橋本町と東京電力ホールディングス（株）が協力して取り組んでいる。

●湿原の再生・保全の取り組み内容

湿性植物の残存状況、乾性植物（木本種を含む）の侵入状況、それらの面的分布を把握し、今後の保全計画策定の基礎となるデータを求めるため、植生調査と水質分析、植木伐採、埋め戻し、ドローンを活用した空撮を実施。中叢湿原に分類されるシートオオミズゴケ群落とヌマガヤ・オオミズゴケ群落を中心に植物相は50和141種が確認され、環境保全確認リスト等に指定される重要種として3科4種（オオミズゴケ、カネツバタ、ナナショウブ、ササユリ）を確認した。

ドローンを活用した植生調査の空撮写真（平成29年5月）

地上調査で確認された希少植物
シートオオミズゴケ、カネツバタ、ナナショウブ
の減少傾向を把握（2017年10月撮影）の成果を確認

【課題】

●確認に至らなかったムササミ・カネツバタやヒメタネキモ等の今後の再生活動には必要の可能性

●ヒメタネキモ等の水生植物は生育にある湿原の水質が必要だが、植生の面的分布は地下水位の面的分布の図像に依存せず、変動幅や変動パターンに把握

●不要木や樹根の除去、人為的な池の形成、埋土工事の活用など

ドローンを活用した植生調査の空撮写真（平成29年10月）

©2017 TePCO. Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

天神原湿原の再生・保全活動の展示パネル 【植木伐採での取り組み】

＜参考：檜葉町の天神原湿原における直近の再生・保全活動について＞

- 7月18日(水)に檜葉町と当社が協力して、希少植物を守るために駆除種(雑草)の除去等による湿原の保全活動を実施予定

5月の活動実績

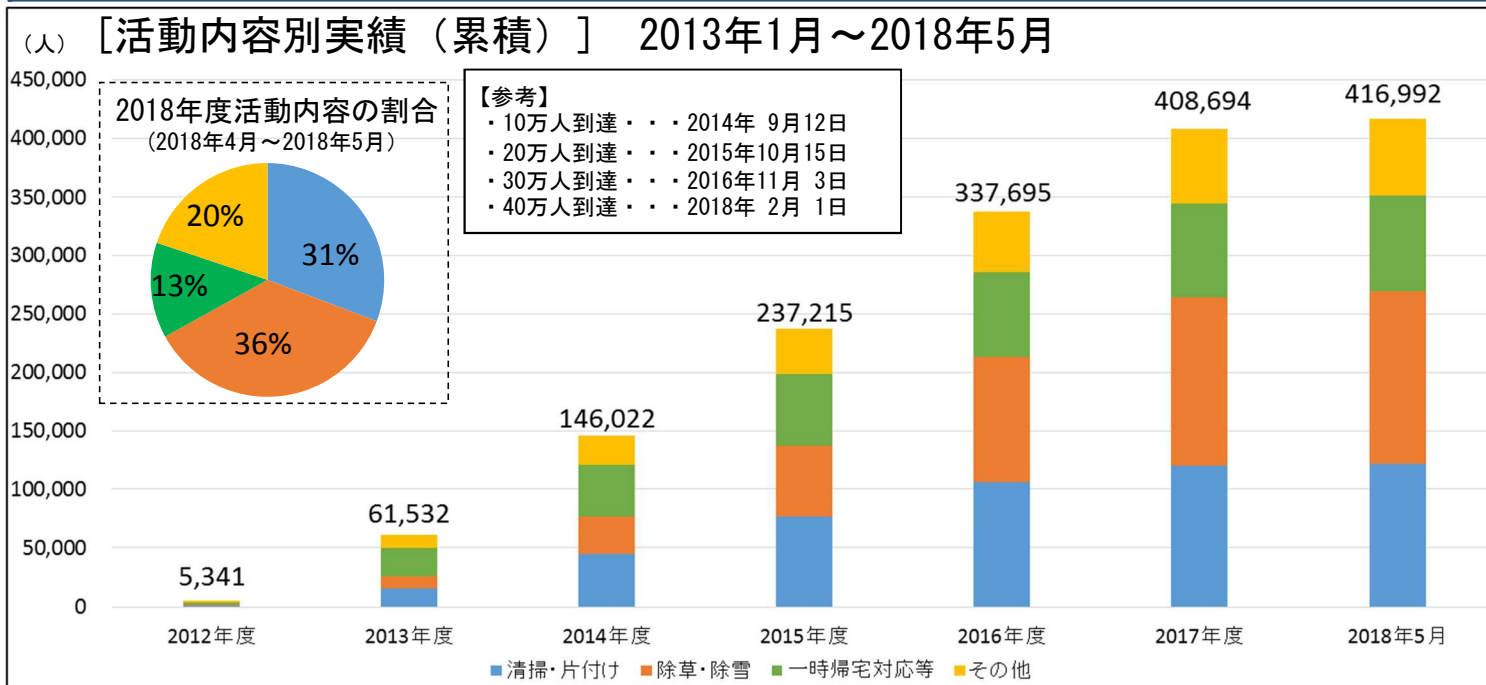
清掃・片付け (屋内清掃・大型家財搬出等)	除草・除雪 (町道・住宅進入路・公共施設等)	一時帰宅対応等	その他 (イベント運営補助・介護研修会等)
			
1,364人 (30%)	1,681人 (38%)	572人 (13%)	850人 (19%)

5月の活動実績合計

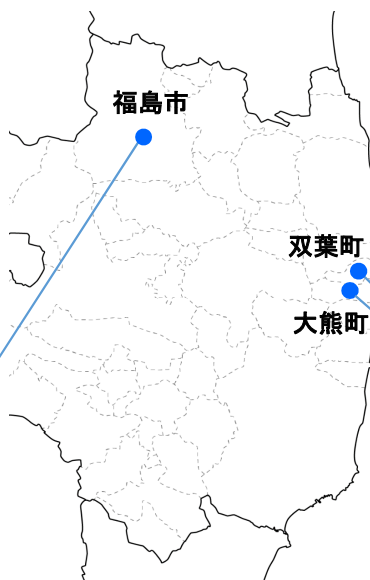
4,467人

復興本社設立 (2013年1月) からの累計

416,992人



至近の主な取り組み



特定復興再生拠点区域における屋内片付け・物品持ち出しへの協力

実施の経緯

- 当社は、自治体等からの要請により、住民の方の一時帰宅などに向けた住宅周辺の除草や清掃・片付けなどに取り組んできた
- 帰還困難区域の「特定復興再生拠点区域」においては、住宅の除染・解体を国が実施するにあたり、環境省から、町民の方が実施する屋内片付け・物品持ち出しへの協力依頼をいただいた
- 物品の搬出方法等について、環境省と協議を重ね、2018年2月から大熊町で取り組みを開始し、6月からは双葉町でも新たに開始した

実施時期 【大熊町】2018年2月～ 【双葉町】2018年6月～

実施場所 大熊町、双葉町の特定復興再生拠点区域

実施人数 社員 延べ248人（2018年度実績 6月末現在）

実施内容 環境省からの要請により、特定復興再生拠点区域における家屋の除染・解体にあたり、町民の方が実施する屋内片付けおよび物品持ち出しに協力

＜活動の様子＞



片付け・物品持ち出しの様子
[2018年6月14日撮影：大熊町]



環境省、除染・解体事業者と打合せの様子
[2018年6月19日撮影]

今後の展開

- 特定再生復興拠点区域における世帯数は、約2,700世帯（大熊町：約1,700世帯、双葉町：約1,000世帯）避難指示解除の目標時期（2022年）に向けて、増加が予想される環境省からの屋内片付けなどの依頼に適切に対応していく
- 引き続き、環境省、自治体をはじめとする関係者の方々、町民の方々からご意見・ご要望を伺い、地域の復興に向けた取り組みを展開していく

「第7回飯舘村老人クラブ連合会パークゴルフ大会」への協力

実施時期 2018年6月16日

実施場所 福島市（北福島パークゴルフ場）

実施人数 社員14人

実施内容 「第7回飯舘村老人クラブ連合会パークゴルフ大会」の開催にあたり、会場設営、運営補助および駐車場での車両誘導に協力

＜活動の様子＞ [撮影日:2018年6月16日]



会場設営の様子



車両誘導の様子



開会式の様子



開会式での岡村（復興推進室長）の挨拶



運営補助の様子



終了ミーティングでの主催者ご挨拶